

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 国際交流推進事業
-------------------	-----------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	1	国際交流の推進（海外友好都市）
事務事業番号	002	事務事業コード 62211002 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	国際交流推進事業費
------	------	------------	-----------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>国際交流団体等と連携し各事業を展開することにより、市民の国際理解を深めるなど、登別市における国際交流を推進することを目的とする。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>登別市の国際交流を推進するため、市内の国際交流団体と連携しながら国際理解講座を開催するほか、市内の国際交流団体が受け入れする研修生等への支援や国際交流団体との意見交換、通訳ボランティアの登録制度を行っている。また、友好都市協定を締結している海外都市との交流を推進する。</p> <p>【平成 2 2 年度の主な事業実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流団体による外国人研修生等受け入れに伴う支援。</li> <li>国際交流団体との意見・情報交換会の実施。</li> <li>サイパン市中学生の受け入れ。 市内中学校等への訪問やスキー場での雪体験、市民交流パーティへの参加等、体験事業を実施。</li> <li>国際理解講座の開催（お国紹介、料理教室等を 5 回開催）</li> </ul>
成果	<p style="background-color: #ffff00;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>市民に多くの異文化交流の機会を提供し、国際理解や国際協力を深めるなど、市民、国際交流団体、行政が交流することにより、登別市における国際交流の推進が図られている。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>平成 1 9 年 6 月 1 0 日 ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書 平成 1 8 年 1 1 月 2 0 日 サイパン市との友好都市提携同意書</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	講座等の参加者数（年度ベース）	人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	112				
	市民・児童生徒等との交流（年度ベース）	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,939				

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	544	248	228	228	228	684
合 計			544	248	228	228	228	684
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	531	545			
		嘱 託 員	千円	956	1,032			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,487	1,577			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 海外の友好都市と交流することや、市民に異文化を体験する機会を市が提供し地域における国際交流を推進することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ サイパン市からの中学生や国際交流団体が招へいしている研修生と市民との交流が図られている。 また、国際交流団体と連携し、国際理解講座を開催していることなどにより、市民の異文化に対する理解が得られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 友好都市提携に基づき、継続的に交流の機会を設けることにより、成果の向上が見込めると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 最小限の経費で本事業を実施していることからコスト削減は困難である。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	サイパン市との友好都市提携同意書及びファナー・ミッドフン市との友好都市協定書に基づき、両市との友好交流により、市の国際化を推進していくため、本事業を継続する必要がある。 今後においても、国際交流団体と意見・情報交換を行うなど連携しながら、各種事業の取り組みを推進していく。
-----------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）